

# サーフカーニバル

第32回全日本ライフセービング種目別選手権大会

## チーム参加募集要項

# 種目別

## チーム1次要項

- 名称 サーフカーニバル 第32回全日本ライフセービング種目別選手権大会
- 日程 2019年6月15日(土)・6月16日(日)
- 場所 御宿中央海岸(千葉県御宿町)
- 主催 公益財団法人 日本ライフセービング協会
- 後援(予定) 国土交通省、スポーツ庁、消防庁、海上保安庁、千葉県、千葉県教育委員会、御宿町、御宿町教育委員会、公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー
- 協力(予定) 勝浦海上保安署、一般社団法人御宿町観光協会、有限会社吉田三郎商店、国際武道大学トレーナーチーム、千葉県ライフセービング協会、特定非営利活動法人九十九里ライフセービングクラブ、御宿ライフセービングクラブ

### ■競技種目

<個人種目>

- 01 サーフレース(女)
- 02 サーフレース(男)
- 03 サーフスキーレース(女)
- 04 サーフスキーレース(男)
- 05 ボードレース(女)
- 06 ボードレース(男)
- 07 オーシャンウーマン
- 08 オーシャンマン
- 09 ビーチフラッグス(女)
- 10 ビーチフラッグス(男)
- 11 ビーチスプリント(女)
- 12 ビーチスプリント(男)
- 13 2kmビーチラン(女)
- 14 2kmビーチラン(男)

※登録種目数は1人2種目までとします。3種目以上出場する場合は追加費用をお支払いいただきます。

※下線のある種目には中学生も参加可能です。

### ■競技規則

基本的にJLA競技規則2019年版に従って実施しますが、詳しくは後述の「参加規程」をご覧ください。

※ルールを十分に理解し出場して下さい。

### ■海外選手

本競技会においては、国内に住民票登録のない者への特別な参加制限はありません。

※参加規定は満たす必要があります。

### ■表彰

各競技上位1~8位を入賞とします。また、1~3位はメダルを授与し表彰式で表彰します。なお、総合の表彰はございません。

### ■タイムテーブル

別紙「参考タイムテーブル」を参照してください。

※天候や漁の関係で変更することがあります。

※詳細確定版は、エントリー締切・集計後にご案内致します。

## ■代表者会議及び出場確認

競技進行や競技上の注意事項について説明する代表者会議及び出場確認を **6月15日(土)9時00分** から開催予定です。詳細につきましては後日チーム代表者宛に2次要項にてご連絡いたします。

## ■参加費

＜参加費＞

一般	…	1名	8,000円	※保険料含む。
高校生	…	1名	5,000円	※保険代含む
中学生	…	1名	4,000円	※保険代含む

### ◆追加参加費

3種目以上に出場する場合は、追加参加費として1種目ごとに1,000円が必要です。

### ◆変更手数料

申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目・その他の記載事項の変更が可能です。但し、申込締切時にエントリー登録されている方のみを対象とし、新たな競技者のエントリーは認められません。また、変更手数料として、1つの変更につき、3,000円が必要です。振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受付けません。

例：種目を1つ変更＝＋3,000円

種目を2つ変更＝＋6,000円

◆参加競技者が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、参加申込締切後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、やむを得ず中止になった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、エントリーミスにより競技会に出場できない場合にも、返金は致しませんので、エントリー作業はお間違えのないように十分ご注意ください。

## ■保険について

本競技会参加規程のもとでの参加者（選手、競技役員）は、以下の保険に加入しています。

なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため保険の対象となりません（例：レース中、A選手のクラフトがB選手のクラフトにぶつかりB選手のクラフトが破損した）。競技会期間中の場合は、大会本部事務局にお知らせください。

＜傷害保険＞

死亡保険金額	500万円
後遺障害保険金額	500万円～20万円
入院保険金額	3,000円
手術保険金額	入院保険金額の5倍～10倍

※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）

＜個人賠償責任保険＞

賠償責任保険（身体・財物）	1億円
※1事故につき5千円の自己負担	
※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）	

＜団体賠償責任保険＞

賠償責任保険（身体・財物）	2億円
賠償責任保険（管理財物）	50万円
賠償責任保険（人格権侵害）	50万円
事故対応費	500万円
見舞費用（死亡）	50万円
見舞費用（後遺障害）	2万円～50万円
見舞費用（入院）	2万円～10万円
見舞費用（通院）	1万円～5万円

※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

## ■認定審判員の選出について（本大会に選手登録をしていない方）

他の公式競技会と同様に、各チームの参加人数に応じた認定審判員の選出をお願いいたします。競技会日程が延び、参加人数も増加してきているため、競技会運営を円滑にするための導入措置となります。ご理解とご協力のほどお願いいたします。詳細は、参加規程「認定審判員の選出」をご確認ください。

## ■宿泊について

必ず御宿町観光協会を通して申し込んでください。（別添、申込書）

## ■競技成績証明書

各種目で入賞された選手で、競技成績証明証が必要な方は JLA ウェブサイトにて申請書をダウンロード、記入し、JLA 事務局までご提出ください。発行申請は該当競技会より 1 年以内の期間で受付をいたします。

[http://jla.gr.jp/lifesaving\\_sports/rule.html](http://jla.gr.jp/lifesaving_sports/rule.html)

ライフセービングスポーツ→申請→競技成績証明書

## ■登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得して、個人管理ページで保有資格等の確認と 2019 年度登録費（資格登録や選手登録）の支払いをお済ませください。各種登録は 1 年ごとです。なお、登録方法などご不明な点は下記のサポートセンターにお問合せください。

●電話：06-4400-1063（月水金/11時～16時）

●メール：「LIFE SAVERS」のお問い合わせフォームをご利用ください。

<http://life-savers.jp>



## ■お問い合わせ先

日本ライフセービング協会事務局  
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル 1 階  
TEL：03-3459-1445（対応時間：平日 12：00-18：00）  
FAX：03-3459-1446

# Surf Carnival

## 第 32 回全日本ライフセービング種目別選手権大会

### 参加規程

#### **1 参加資格**

競技者の参加資格は下記の 4 点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、競技会初日当日満 12 歳以上でなければならない。但し小学生を除く。
- 1-2 中学生は、特別同意書を提出しなければならない（別紙）。
- 1-3 競技者は、ライフセービングを志す者でなければならない。
- 1-4 競技者は、申込締切日までに、選手登録が完了していなければならない。
- 1-5 競技者（一般）は、ベーシック以上の資格所有を推奨する。  
高校生は BLS および WS 以上の資格所有を推奨する。

#### **2 チーム構成**

- 2-1 チームは、申込締切日までに、第 1~6 種の団体登録が完了していなければならない。
- 2-2 チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。

#### **3 チーム名**

参加チーム名は本協会に登録されているクラブ登録名とする。

#### **4 出場登録**

- 4-1 参加競技者は、あらかじめ所定の用紙を用い出場種目の登録をしなければならない。
- 4-2 申込に過誤があった場合に限り、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」ができる。但し、すでに出場登録がされている方のみ対象とし、新たな競技者の出場登録はできない。

#### **5 チーム代表者**

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を 1 名おこななければならない。なお、チーム代表者と競技者はこれを兼任することができる。また、代表者会議に参加しなければならない。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、チーム代表者の責任において参加競技者の中で代表者に準ずる者が出席すること。

#### **6 チームユニフォーム及び競技中の衣類**

- 6-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、競技会の申込締切前までに本協会に登録されていなければならない。
- 6-4 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。キャップは、競技者の識別や判定のために重要であるため、スタート前に 2 本の紐をあごの下で結んで競技者の頭に着用しなければならない。スタート後に、キャップがとれたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 6-5 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュベストに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- 6-6 公式競技会におけるオーシャン競技・サーフ種目ではラッシュベストを着用しなければならない。ラッシュベストの着用なしでの参加は認められない。

#### **7 競技器材**

- 7-1 競技に使用する器材は参加競技者が用意するものとする。
- 7-2 競技で使用する器材は、「競技規則（2019 年版）」の「器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。

#### **8 競技規則**

本競技会は JLA 競技規則 2019 年版及び下記の事項に則り実施する。但し、下記の事項が競技規則 2019 年版よりも優先される。

- 8-1 本競技会は、最初の競技種目の招集開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から 20 分後に終了するものとする。ただし、抗議、上訴または規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 8-2 競技会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規定、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 8-3 競技者がビデオカメラを着用、または他の方法で競技者に取り付けてはいけない。
- 8-4 競技者はレースの開始から終了までの間、電子通信機器を使用してはならない。
- 8-5 ビーチフラッグスにおいて、競技中に起きた行為や競技規則違反についての抗議を申し出る競技者は、自分のヒートの次のランスルーの入場までに口頭で行うこと。
- 8-6 決勝は A 決勝、B 決勝に分けず、1 ヒート (A 決勝) のみとする。
- 8-7 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までに招集場所に集合し、オフィシャルの指示により整列すること。

## **9 認定審判員の選出 (本大会に選手登録をしていない方)**

- 9-1 参加チームは下記のとおり、認定審判員を選出しなければならない。  
選手 5~10 名=1 名、同 11~20 名=2 名、同 21~40 名=3 名、同 41 名以上=4 名。  
また、何かの理由で審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。  
両日にわたり必要人数の選出がない (=競技会当日に必要な人数の審判員の参加のない) チームは、本競技会への出場を認めない。(チーム全体の不参加とする)
- 9-2 参加する審判員の方は、デジエントリーにより審判員・スタッフ参加申し込みを行うこと。
- 9-3 選出する審判員は、C 級認定審判員資格以上を取得し、競技者として登録していないこと。  
※申込締切期日までに、必ず審判員資格を取得していること。  
※申込締切期日までに、必ず審判員資格登録費をお振込下さい。
- 9-4 選出する審判員は 2 日間を通じて参加できること。なお、2 日間を通じて審判員を選出できないとき(やむを得ず参加日ごとに審判員が入れ替わる場合)は、主催者は距離が近い方の 1 名分の交通費 (上限 ¥5,000 円) のみを支給する。
- 9-5 参加に関わる交通費、食事、宿泊は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する。
- 9-6 選出する審判員は、BLS 以上の資格所有を推奨する。

## **10 その他**

- 10-1 競技会中に競技会主催者および競技会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 10-2 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
- 10-3 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)